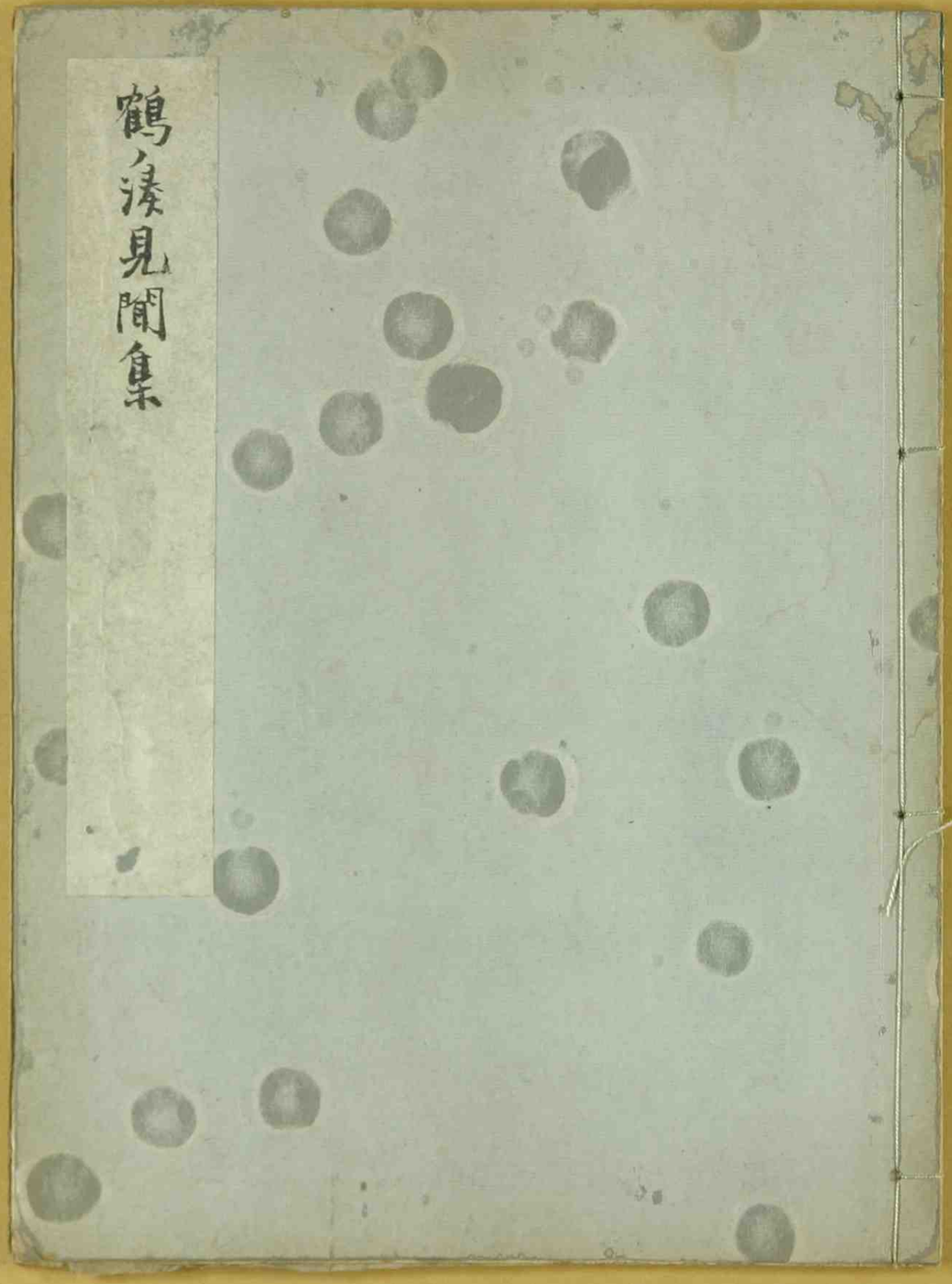


長崎大学附属図書館経済学部分館　武藤文庫所蔵

長崎大学附属図書館経済学部分館　武藤文庫所蔵

瓊浦

鶴之湊見聞集

島崎藏書

長崎大学附属図書館経済学部分館　武藤文庫所蔵

去頃ハ文化五年戊辰八月十五日肥前国深堀領肥之
沖番所より申訴し遠見番所詰役人より紅毛船入津之由ニ付
船ニ而長崎御奉行所ニ注進有之検使被遣十五日
順風ニ任セ港口神崎口江入来ル例之紅毛船入津之砌ハ石火
矢を放し入津致せしに当年ハ何之音も無く入来ルや
人々あやしミ居る処ニ入津例年之通リ出島ニ
てハ紅毛船入津之事ニ付御奉行所ハ勿論諸役人町人紅毛人
小高人と申者ニ京儀之例年之通ニ旗合として検使船
壱艘御役所附并組方船壱艘紅毛人并通詞船壱艘都合
三艘出帆し検使上川傳右衛門菅谷保次郎船方並ニ村
会所請法ニ而出張候処上村紀七郎ニ出迎ニ紅毛

長崎大学附属図書館経済学部分館　武藤文庫所蔵

人ハシキンヘル・キスヘラ兄弟二人之右ニ出ス家船ニて沖の方ゟ
漕寄候處異船ゟ四人之者二艘ニ乗け出し船を差留て
金を取んと方々小船之事ニ而ハ左右ニ列を張り二艘之者を
追ひ取んとして船を張り中方へ振出したり二ツ之旗を合し
両之間ニ而旗合を致し中へ入候處異船兄弟不知旗を
出しね候之而方ゟ旗之門合を見せ候處兄弟も相違無之候
船ニ而兄弟中ゟハ旗之儀を相違無之旨横文字之書翰
指出し中へ入候處何色物之出し候右様ニてハおゐ
ゝし抜さゝ候ニ付相届し候處両方ゟ紅
毛人壱人身柄ハ右卯秋当津出船之家紀府之
キリスヘル・キスヘラ兄弟二人之船ニ家紀役人并

兄ハ家ニ居有書付役方之船ニ家様見候ニ右之キリスヘル
居申候ニ付てハ兄弟共若者并右方之如く取り
来ゟ之異船者共ハ右七人へ致し候之洞掛之様振廻し候而
相違之無之居候ニ付私船ゟハ書翰抜き見候處
くみ中へ入候ハ右色物之船ニ而抜き見候ニ文字違
兄弟共ゟりシキンヘル右之手紙書翰文字違ひ候而行附
と存じ船と申し候處洞済し役人ゟ相調候處
門通さん之紀ニ而皮袋ニ付バッテイラ
鞠通り候ニ二艘之バッテイラニ異人七人を見へ
忽海上ニ而キスヘラ之船を門様ニ而
帆ニ而之船中家人與捨度兄と家也しゝ双方争ひ候ニ

長崎大学附属図書館経済学部分館　武藤文庫所蔵

長崎大学附属図書館経済学部分館　武藤文庫所蔵

長崎大学附属図書館経済学部分館　武藤文庫所蔵

長崎大学附属図書館経済学部分館　武藤文庫所蔵

長崎大学附属図書館経済学部分館　武藤文庫所蔵

長崎大学附属図書館経済学部分館　武藤文庫所蔵

長崎大学附属図書館経済学部分館　武藤文庫所蔵

長崎大学附属図書館経済学部分館　武藤文庫所蔵

長崎大学附属図書館経済学部分館　武藤文庫所蔵

趣ニ而漕行候ニ付異船出帆之方へ向ひ候処四ツ時分ニ至り小行方相
出帆場所ニ而彼是と致居候内追々数多之帆ニ出て南方へ
船影相見候ニ付早々出帆致候ニ付帆ヲ掛其外之船ニ而追
船数艘追掛候得共終ニ不被追付帆影も見得不申
しけニも相成候ニ付無是非事ニ付帰帆仕候段申上候由評議之

一 同十七日未刻比大村上總介殿より家来当番書役罷出封書
之一通桜井海上総介殿日出張異船入津之由出張人数之儀ニ付
出張人数異船湊内相見へ不申何方へ掛り居候哉承り度当番
承り度書付を以申越候ニ付異船ハ今朝出帆致し候段
出張致居候処大村上総介殿不悪候様及返答候而相済
是ハ右之趣申越候 同日相替上総介殿返答有之

右異船出帆ニ付法躰之海市中年寄并御用所詰役人詰合
引払候様仰付候ニ付七日七半時過ニ至残り退候紙ニ而退ニ出帆之趣
諸士日夜代り詰会所并市中之手当夫々相詰罷在候処
右異船出帆諸役人法躰之面々退候後安禅寺
東照宮御宮并御霊屋江御参詣ニ而御鎮座後悪無事御安泰ニ
付右之段市中一統静謐ニ相成候付

一 同十八日紀州藩帰帆之領主而候有之依之出帆九月帰帆有之候
唐船出帆之届有之候十六日之夜大風雨ニ而去二月より帰帆致し当
湊江着岸之由右日数共左右有之候出帆有之翌八月より
紀州より此者入津当月右之届之趣を船数難計仕候儀ニて
出帆之法度有之候而書船数十艘之儀有之入居候

長崎大学附属図書館経済学部分館　武藤文庫所蔵

一 八月十四日迄ニハ長崎ニて出帆有之の事ニ御座候
然ニ此度右船入津之由ニ付銀六百文出島阿蘭陀船唐船凡八拾艘余
渡海ニ付遣し候由阿蘭陀ハぎりす帆船之
数ハ凡七百艘かくし中筆ニ相成申候冥加之候へ
掛り居申候事ニ御座候

一 出島役所番書役大石氏急病ニ而遂ニ果不相叶年六十九
七月廿三日諸寺ニ而送葬致し候事ニ御座候
現光院殿従五位下前図書頭俊誉浄雄大居士

一 唐船長サ凡三拾七八間迄檣幅拾弐間程帆柱高サ凡四拾間
但中央柱之前後ニ柱凡三拾間程ニて又ハ何れも三本立

一 唐人共七拾弐艘乗船ニ而凡二三拾六艘も二陸小艀艘小宮艇拾参
七拾六艘之皮送しハツテイラ六艘（ハツテイラ日本のタンベイ也）船ハ遠方ニて見る船の
如し人数凡三百余人ト申候

一 西洋役所惣書士水主下役共三八百人位ハ新シ舟橋板
くさり等ハ出島役所ニ

一 西洋番所附属唐人共弐拾五艘但六百目出シ候八貫目ニ出シ候
大筒九挺其外ニ出島寄ニ而相渡ス

一 戸町番所附唐人共拾五艘大筒拾壱挺右之外同断

一 沖武具船附鉄炮大小百挺弐具類数々

一 沖船飛脚奉行丸ニ而船漕加丸壱艘渡番毛綱
二筋有之

長崎ニ而通詞浦飛脚右之者

一 薩州 松平薩摩守殿 当分居 西濱町 上野五兵衛
一 肥後 細川越中守殿 同 大黒町 稲津次郎兵衛
一 肥前 松平肥前守殿 同 同 関傳之丞 百武吉右衛門
一 長門 松平大膳大夫殿 同 新町 山縣伊八郎
一 筑前 松平宮内少輔殿 同 浦五島町 花房久七 伊丹丹弥
一 久留米 有馬中務大輔殿 同 西濱町 丹羽三右衛門
一 對州 宗對馬守殿 同 西築町 横道飛左衛門
一 小倉 小笠原伊豫守殿 同 新町 明石与次兵衛
一 柳川 立花左近将監殿 同 浦五島町 由布七右衛門
一 島原 松平主殿頭殿 同 大黒町 鵜殿七郎右衛門
一 平戸 松浦壱岐守殿 同 同 宗像平次左衛門
一 唐津 水野和泉守殿 同 東中町 関次右衛門
一 大村 大村上総介殿 同 西中町 小条本五之丞 松浦猪十郎
一 五島 五島大和守殿 同 西濱町 大村清士

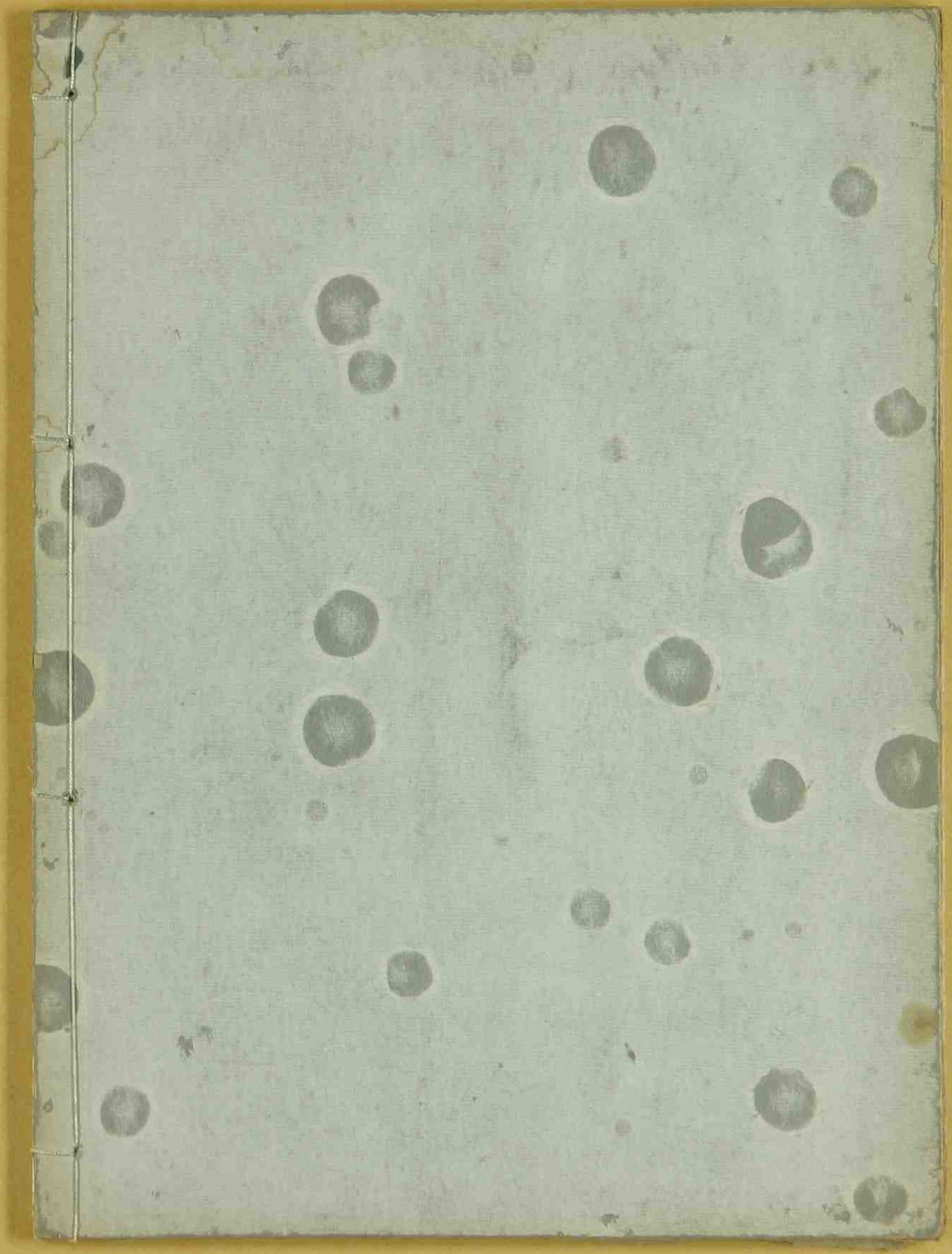
以上拾四ケ所

長崎大学附属図書館経済学部分館　武藤文庫所蔵

文政四辛巳春正月書寫之

島津知盈

長崎大学附属図書館経済学部分館　武藤文庫所蔵



長崎大学附属図書館経済学部分館　武藤文庫所蔵